京城日報

第八十五臨時議會

貴衆兩院成立す

固めん皇國必勝の態勢

けふ開院式を擧行

首相、歷史的大演說

きのふの衆議院（上）

議會開會詔書

厚相政務奏上

首相政務奏上

湯川食糧局長官
遠藤總監訪問

人の和と誠を昂揚

戰力を急速に增强

阿部總督、民間の協力奮起要望

四百二、三十億か

貯蓄目標の引上必至

皇軍の決意闡明

戰況報告に重大意義

難局打開の媒たらん

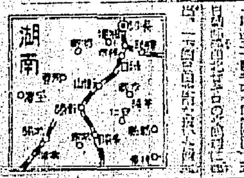
昨夜、岡田衆議院議長放送

要衝・祁陽を占領

米空軍基地 零陵へ僅か卅粁

（湖南戰線）

祁陽南方三粁



贛州を急襲

大型四機屠る

艦砲射擊一時間

大鳥島

ハルマヘラに四十六機

南鳥島にB24

B29の委員長更迭

ソ聯、對勃宣戰

勃は休戰協定申入れ

戰鬪、アントワープ地區へ

再び獨長距離砲活躍

英軍リミニ港に迫る

中部赤軍進出

獨大使、首相と會談

細甸駐劄大使に

石射前駐伯大使

澤田大使、亞相を補佐

石射猪太郎

關門隧道完成の

下關地方施設部を表彰

團體初の顯功章授與

衆議院の豫算審議方針

けふの兩院

貴族院

衆議院

隣組の貯蓄に

山一證券京城支店

血戰錄

消息

居從外交攻擊

米議員、對ソ

生理障碍
更年期障碍
エスチモン

頭重、耳鳴り、肩凝りの人は
血壓に注意、油斷すれば
腦溢血の危險
高血壓に
マキクニン
原理化學研究所

淨血 救齒 排毒 榮養
恐性慢性の難病に惱む人
血壓高く日夜苦惱する人
虛弱體質で病氣勝ちの人
ドラミン
各藥店にあり

病源を除けば
絕對健康

慢性の胃腸カタルでなやむ方に
トモサン

肩こり
足腰の痛み
打身くじき
ネリン

皇漢散劑
胃腸ロップ

心臟に
心孫

迫る神機に開く敵必滅の議會

劈頭、まづ防訓

議員さん待避も鮮か

勤勞殉國へ總蹶起

民間有力者が講演行脚

勤勞報國講演會開く

突擊だ、特幹志願へ

陸軍で要望

突貫する勞力、資材

近く"土建機動部隊"を編成

遺言の生命保險金を献金

銃後の戰意三題

府民版

軍屬合同葬

盛大に執行

李王邸に伺候

遞信政務總監

高須大將海軍葬

捧ぐこの腕この力

血潮は湧く、應徵志願の六名

松本鶴明君

廣岡逹雄君

木村孝三君

緒方炳燦君

青木重君

金村武雄君

徵用は半島の名譽

田中勤工局長釜山で語る

話すまい書くまい

萬全期さう通信防諜

大東亞兩斷を狙ふ

送れ大量の入魂機

粘りこそ必勝の道

陸鷲の荒鷲部隊長語る

東大崩れの敵搭乘者

敵劇脚本募集

轟撃者を海鷲勇士の手に

天晴れ徵用志願

五人組の拔荷

陸軍貸付馬の檢查

半島人に乳母用綿布

砂糖の闇値現る

毒ガスの講習會

勝つのだ 仕事だ 煙草は後だ 專賣局

祖母の死秘して教壇へ

三江山訓導

鐵亞滿洲は不忠の臣

情實先は警官や町役員

どうかと思ふ肉の特配給

國防獻金

飛行機獻納基金

恤兵金

適齡海軍學生志願者へ注意

相談所にも時局色

安産のために フタカルシューム錠

東大新生 (6)

仰ち是れ救國 (三)

中泉太郎 伊勢良夫

放送 (7日)

京日案内

工場讓受度し 電本④九八三番へ

女子事務員募集 京城競馬場

解散公告 朝鮮染織工業組合

求貸事務所 女中入用 給仕採用 貸倉 貸小住宅數戸 看護婦 求貸工場 男女工員募集 男子從業員急募 朝鮮興行協會 女子從業員採用 大一商會 女子事務員採用 朝鮮製粉會社 東京海上 男子職員採用 ガソリンポンプ 消火用ポンプ 朝鮮電工會社 職員募集 朝鮮總督官房 五宮事務所 姓名在社十號 工員募集 タイピスト採用 朝日聯合會 女子事務員採用 東亞林業會社

絕對新版 電撃二重奏

杉狂兒 夕起子 月見凡太郎

七日より 大陸劇場 京城劇場 城南劇場

開館披露公演

決戰演藝演劇愈々開幕!

半島最高藝術家諸氏熱演

舞踊と音樂會

趙澤元舞踊團總動員

七日より十一日迄

中央劇場

五所平之助(新興)

藝術の意欲で君閒に絡る義理と人情の愛憐譜!

七日封切 若草劇場 城寶